

第6次益田市総合振興計画

【基本構想に関する検討用資料】

総合振興計画審議会

令和2年9月4日開催

益田市

1-1 益田市の現状

本市を取り巻く社会潮流とこれからの社会、本市の特性、市民意向、人口動態をはじめとした本市の現状を踏まえ、本市の課題を7つの主要課題として整理しました。

■ 益田市の現状及びアンケート調査と主要課題の関係図



1-2 まちづくりの主要課題

「社会潮流」、「人口の推移」、「市民アンケート等」により把握したまちの特徴や現状を踏まえ、まちづくりの主要課題として次の8項目を定めます。

(1) 社会変化に対応できる持続可能な地域づくり【横断課題】

- 我が国においては、人口減少に加え、新型コロナウイルスの世界的な流行により生活や産業のあり方の変化・見直しが求められています。このような中でICT(IoTや AI 等の情報通信技術)などの先端技術を活用した社会課題の解決が期待されています。国が推進する「Society 5.0」の動きを注視しながら、益田市の環境に合わせた適切な技術の導入を図り、快適で安全な社会の構築に向けた取り組みを推進する必要があります。また、今後、新たな感染症が流行した場合に備え、雇用・事業・生活の安定を守るための支援や、感染拡大防止と地域の活性化を両立させる方策の検討を行うことも必要です。
- 益田市においても、このような大きな社会変化にあわせて、生活や産業のあり方を大きく転換する必要があります。官・民協働のもと、社会変化に対応した持続可能なまちを形成していくことが必要です。
- 人口減少は、今後も当面の間、避けられない課題であり、人口減少社会に打ち勝つ持続可能な地域づくりを実現することが求められます。そのため、産業の活性化のための「しごとの担い手」育成、地域を支え魅力を高める「地域づくりの担い手」育成、自らの可能性を広げることのできる「未来の担い手」育成を引き続き推進し、人口減少に歯止めをかけるために欠かせない人材育成に取り組む必要があります。
- 複雑化する地域課題への対応においては、さまざまな立場の人が互いに協力し、一緒に解決の道筋を考えていくことが必要です。そのため、従来の行政の枠組みや官・民あるいは民間どうしの垣根を超えた協働の取り組みを推進する必要があります。
- 従来の「定住人口」だけでなく、「交流人口」、「関係人口」の考え方に基づいて都市部と地方とのつながりを強化する施策が、国において進められています。本市においても、定期的に本市との関わりを持つ人のすそ野を広げていくことにより、益田の魅力を外へ発信し、将来的な定住人口の増加へつなげていく取り組みが必要です。また、本市が育んだ若者が地元で愛着を持ち、定住につなげるための取り組みも必要です。

(2) 誰もが健康で安心して生活できる環境づくり【健康・医療・福祉・子育て】

- 高齢化や人口減少が進む中においても、互いに支え合い、孤立せずに暮らせる社会にするため、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、お互いにつながった地域共生社会の実現を推進する必要があります。
- 病院勤務医師数については概ね横ばいで推移していますが、高齢者の増加にともない、医療に対する需要が増加すると見込まれており、また、開業医は高齢化などにより減少傾向にあります。そのため、誰もが安心して医療を受けることができるよう、医師をはじめとする医療従事者の確保や、医療提供体制の維持・継続が求められます。
- 高齢化が進む中において、誰もが生涯を通じて健康で安心して暮らせるまちづくりが求められています。特に、高齢者や障がい者の生活を地域で支えるまちづくりが必要です。そのため、介護予防策の推進や介護・保健福祉サービスの充実を図っていく必要があります。
- 出生数は減少傾向(自然減)にあるなど、少子化の局面を迎えている中で、各ライフステージに応じた切れ目のない支援が求められています。そのため、地域社会全体で子どもを見守り育む地域づくりを行うことや、安心して子どもを産み育てられる医療・生活環境の整備が必要です。

(3) 益田市を担うひとを育て、歴史・文化を継承 [教育・歴史・文化]

- 子どもの学力育成や学習環境の整備に強い期待がかかっています。児童・生徒数の減少が見込まれる中においても、教職員の資質の向上や、よりよい学習環境の整備が必要です。
- 進学・就職などを契機に若年層の転出が多い状況が続いており、このままでは、持続的な地域社会の維持が困難となる恐れがあります。そのため、未来を担う子どもが健やかに育つ環境や地域を知る取組をより充実させることにより、ふるさとに対する愛着心を育むことで、居住地として選ばれるまちを実現することが必要です。
- 益田市には、豊かな歴史・文化資源が残っており、日本遺産として認定を受けるなど、歴史・文化振興に対する期待は大きなものとなっています。益田市の歴史・文化を後世に残していくため、文化財の保存・活用に向けた取り組みの推進や、歴史・文化を学ぶ機会を創出することが必要です。

(4) 地域資源を活かした魅力的な産業の創出・育成 [産業]

- 少子高齢化により、就業者数が全体的に減少傾向にあるなかで、特に、農業や漁業への就業者数は、半数以上が60歳以上となっています。そのため、新たな人材の育成や新技術の導入などによる地域経済の発展や市民生活の向上に向けた、農林水産業の振興を図っていく必要があります。
- 益田市には「アユ」や「メロン」、「ぶどう」、「トマト」などといった他に誇れる魅力的な特産品があります。しかしながら、ブランド化されておらず、魅力を活かしてきていないことが課題となっているため、これら地域の魅力的な産品をもっと多くの人に知ってもらうために、地域の誇る産品の高付加価値化が求められています。そのため、農林水産業や、商業、観光、サービス業など産業間との連携による付加価値の向上や地域ブランド化への支援が必要です。
- 商工業についても、生産年齢人口の減少が、労働力不足やそれに伴う生産活動の低下をもたらす可能性があります。さらに、中山間地域においては、経営者の高齢化や消費者の益田地域への流出など、身近な生活拠点の維持が困難となっている地域も存在します。そのため、鉄道や空港などの拠点を活用しながら、地場産業の振興や新たな企業誘致につなげることや、特色ある地域資源を活用し、地域産業で生み出したものを地域で消費する循環を促すことが必要です。また、今後は、感染症対策を念頭に置いた新たな働き方やビジネスモデルの取組みに対する支援の必要性も見込まれます。
- 中世益田氏の歴史をはじめとした魅力ある地域資源や萩・石見空港は、益田市の産業や観光業を支える存在であり、関係人口の拡大を図るうえで大きな可能性を秘めています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行を経験した今日では、新たな感染症の流行が観光産業に与える影響の大きさを踏まえ、オンライン等を利用した、感染症の影響の少ない観光振興策の検討や安心・安全な旅行環境づくりを進めながら、インバウンドを含めた交流人口の維持・拡大を図ることの必要性が見込まれます。また、今後は遠出を避けた旅行としてマイクロツーリズムの需要が高まることも予測されます。そのため、地域とのかかわりが深まることによる関係人口を創出するためにも、観光客に対する受け入れ体制の強化や、地域の魅力的な資源を発信するための情報基盤整備や拠点の整備を進めていくとともに、近隣市町村との連携による新たな観光振興施策を検討していく必要があります。

(5) 安全で便利に暮らせる都市環境の創出 [交通・都市環境]

- 救急搬送の速達性の向上や災害時のネットワーク確保、走行時の安全性の向上など地域の活性化・安全安心に資する多くの効果が見込めるものとして、山陰道の工事が着々と進んでいます。その他の道路

においても、産業や観光の振興、生活利便性の向上のためには円滑な移動が可能な道路網や道路環境の整備が必要です。

- 益田市の都市基盤状況を見ると、狭隘道路が残る地区があるなど、市民の生活環境が長らく改善されていない地域もあります。そのため、良好な住環境や地区の魅力向上を図るための便利で魅力的な市街地の整備や、緑が感じられるまちなみの形成を図る必要があります。
- 益田市の都市交通として、JR やバスなどの公共交通網が形成されていますが、アンケートからは、「日常生活が不便」という不満が多く見受けられるほか、過疎化が進む中山間地域においては、特に高齢者を中心に生活の利便性が著しく悪化している地域もあります。そのため、全市的な視点に立って、公共交通網の利便性の維持・向上を図ることで、市民が快適な暮らしを続けられる環境を整備する必要があります。

(6) 豊かな自然や風土の中で、快適に暮らせる住環境の創出 [生活環境・自然環境]

- 本市は、汚水処理人口の普及率が県内でも低い水準にあります。そのため、清潔で快適な生活環境の確保のためには、適切な設備の整備・更新などによる対応を図っていく必要があります。
- 令和元年の水質調査で、高津川が「水質が最も良好な河川」(水質日本一)に 6 年ぶりに選定されるなど、自然環境は非常に豊かなものがあります。また、高津川をはじめとした自然環境は、市民の誇りにも繋がっていることから、次世代に引き継いでいくべき貴重な資源として、今後も適切に保全していく必要があります。
- 地球規模での環境問題が深刻化しており、本市においても環境に対する更なる意識の醸成を図っていく必要があります。そのため、低炭素社会や循環型社会の実現に向けた取り組みを推進していく必要があります。

(7) 市民や地域の活躍を支えていく環境づくり [市民協働]

- 益田市では、住民自治を基本として地域自治組織が運営されており、地域住民の生活を維持するための重要な機能を担っています。特に中山間地域においては少子高齢化の進行が顕著であるため、活動に対する継続的な支援を行っていく必要があります。
- 地域自治組織や NPO 法人を中心とした市民活動団体のまちづくり活動や、地域住民自らによる、地域の課題解決に向けた取り組みについて期待が高まっています。さらに、市民アンケートによると地域の課題は行政と地域と一緒に解決すべきとの意向も強く、効果的で満足度の高い行政サービスの提供や市民が直面する地域課題の解決には、市民や各種団体、行政の協働が不可欠です。
- 集中豪雨や河川の氾濫など自然災害が全国で多発する状況において、危機管理対策が重要となってきます。緊急時における迅速かつ的確な避難体制の構築には市民同士の連携が必要不可欠です。そのような中、自主防災組織率は県内でも低い水準となっており、特に中山間地域などの高齢化が進む集落においては、自力で避難することができず高齢者を高齢者が手助けせざるをえないといった状況の発生も危惧されます。そのため、もしもの際に備えた支援体制の構築や、地域コミュニティでの共助などによる地域の防災力の強化を図る必要があります。また、災害の種類や規模に関わらず、災害発生時に被害を最小限にとどめ、迅速な復旧復興が図れるよう、平時から地震や浸水、土砂災害等の防止のための整備を行う必要があります。
- 益田市には、賃貸や売却等、活用の予定がないまま放置される空き家が増加しています。その結果、生活環境の更なる悪化などの問題が深刻化する恐れがあります。そのため、これら空き家対策を図ってい

くほか、空き家の活用による U・I ターン者への定住に結び付けていくことも必要です。

(8) 効率的・効果的な行財政の運営【行財政運営】

- 近年の社会保障関係経費の増加に加え、災害に強いまちづくりや、公共施設の更新が急務となっており、今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれます。しかしながら、厳しい状況であっても、更なる施策の充実や課題解決に向けた施策を講じながら市民に対する生活サービスの質の向上を図る必要があります。そのため、最小の費用で最大の効果が得られるよう、適切な選択による事業の見直しを行う必要があります。また、歳出の抑制と併せて、市税等の収納率の向上や市有財産の有効活用、ふるさと納税制度の活用等により、自主財源を確保し、健全な行財政運営を行う必要があります。
- 持続的な益田市の運営のためには、市民の力だけでなく、行政職員の資質の向上や意識改革を図る必要があります。そのため、高度化・複雑化する行政課題や市民ニーズに対して行政職員自身が分野横断的な視点による課題解決能力を高めることができる環境を整えることが必要です。

2 益田市のめざす姿

2-1 まちの将来像

平成 23 年(2011)3 月に策定した第 5 次総合振興計画では、『市民・地域が躍動し、希望に輝く益田』を将来像とし、市民・地域が中心の体制をより強固にするため、郷土の誇りである豊かな自然や歴史・文化の中で、市民がまちづくりの主役として活躍し、市民一人ひとりがこのまちになくてはならない存在であると感じながら、人も地域も輝けるまちの実現を目指してきました。

第 5 次総合振興計画の策定から10年が経ち、現在の社会経済情勢は、少子高齢化の更なる進行や大規模災害の頻発、**新たな感染症のリスク**、ICT(IoT や AI 等の情報通信技術)の進展など、社会変化が激しい時代を迎えています。そのような中において、**日本遺産の認定を受けた、中世益田氏を代表とする歴史**や高津川をはじめとした豊かな自然“環境”、地域に根付いた地場“産業”、地域自治組織を核としたコミュニティ“社会”、魅力あふれる個性的な益田の“人”などの多彩な地域資源を活用したまちづくりを行うことで、これまで以上に市民や団体、事業者など多様な主体をまちづくりの場に巻き込み、お互いに助け合いながら元気に笑顔で暮らせるような環境づくりが必要になります。

特に益田市では、「ひとが育つまち」を掲げて人材育成に力を入れて取り組んでおり、ひと(=「人的資源」)を中心としながらも、それを支える地域資源である「環境資源」、「産業資源」、「社会資源」を生かし、お互いの資源の中で循環を図ることが大切です。

このような循環の中で、益田に暮らす私たちは、日頃から様々な影響を受けながら成長していき、その積み重ねの過程で磨かれていくことで、将来の益田を支える輝く人材になると考えます。

以上のことを踏まえ、本市の目指すまちの将来像を『○○』とし、市民が主体のもと、今後 10 年間のまちづくりを進めていきます。

まちの将来像

※審議会委員、庁内作業チームから提案のあった「まちの将来像」案→資料 1 参照

2-2 基本理念

(1) まちの将来像を実現するための重要な資源

本市では、「人」、「環境」、「産業」、「社会」の4つの資源とそれらを構成する様々な要素について、まちの将来像を実現するための重要な資源として捉え、市民・行政とが共に守り育てていながら、持続的なまちづくりを進めていきます。

また、「環境」、「産業」、「社会」の循環の中で、益田市の「人」が関わることによるまちの更なる活力の創出など、資源間の相乗効果も見込まれることから、これら相互関係の強化と循環による、連携感を持った一体的なまちづくりを進めていく必要があります。

資源を構成する要素	
人	雇用、教育、健康、人としての成長、人材育成、人との交流 など
環境	気候、エネルギー、水・空気・土、歴史、文化、都市環境、情報環境ネットワーク など
産業	第1次産業、第2次産業、第3次産業、技術の進歩、付加価値、市内外との産業間連携 など
社会	社会参加、男女共同参画、お互いの信頼、助け合い、コミュニティ など

(2) まちづくりの方向性

以下に、「人」、「環境」、「産業」、「社会」の4つの資源間の関係性とお互いがうまく機能した際の循環のイメージを示します。

■「人」、「環境」、「産業」、「社会」の間における関係性

「環境」	から	「産業」	への関係		
・自然の恵みを享受し、発展する関係					
「産業」	から	「社会」	への関係		
・私たちの生活や地域を豊かにする関係					
「社会」	から	「環境」	への関係		
・市民による環境保全活動により豊かな自然が維持される関係					
・歴史・文化を伝承する関係					
「環境」	「産業」	「社会」	から	「人」	への関係
・地域への愛着や郷土愛の醸成に繋がり、誇りとなって、市民が成長し、まちづくりの活力となる関係					

■良好な循環のイメージ



(3) SDGs の目的と自治体行政の関係

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする、先進国を含む国際社会全体の開発目標です。この目標は、世界共通の17の目標(ゴール)と、これに紐づく169のターゲットから構成され、持続可能で多様性があり、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

わが国では、平成28年5月に、内閣総理大臣を本部長とする「持続可能な開発目標(SDGs)推進本部」を設置し、同年12月に、「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」を決定するとともに、SDGs未来都市を選定し、自治体レベルでのSDGsの普及・推進を図っています。

■SDGsにおける17の目標



ロゴ：国連広報センター作成

(4) 持続可能なまちの形成に向けた共通の目標

本計画の推進にあたっては、市の特性や現状でも示すように、豊かな自然環境や歴史・文化を始めとした本市ならではの特性を活かしていくとともに、変化し続ける課題への対応力を向上させ、持続可能なまちづくりを目指す必要があります。

本市では持続可能なまちづくりの実現を目標に、令和2年3月に「益田市協働のまちづくり推進条例」(以下「条例」という。)を制定し、行政はもちろん地域住民や地域自治組織、事業者など、多様な主体が共通の目的を達成するために、互いを尊重し、対等の立場で協力し、ともに取り組むことを規定しました。

本市ではこれまでも、まちづくりラウンドテーブル(MRT)や益田版カタリ場など、「対話」の中で他者の知見を学びあう「協働」のプロセスを重視した取り組みを行っています。これにより、多様な主体が互いをパートナーとして認め、継続的なつながりが生まれることで、地域の課題対応力の向上が期待されています。

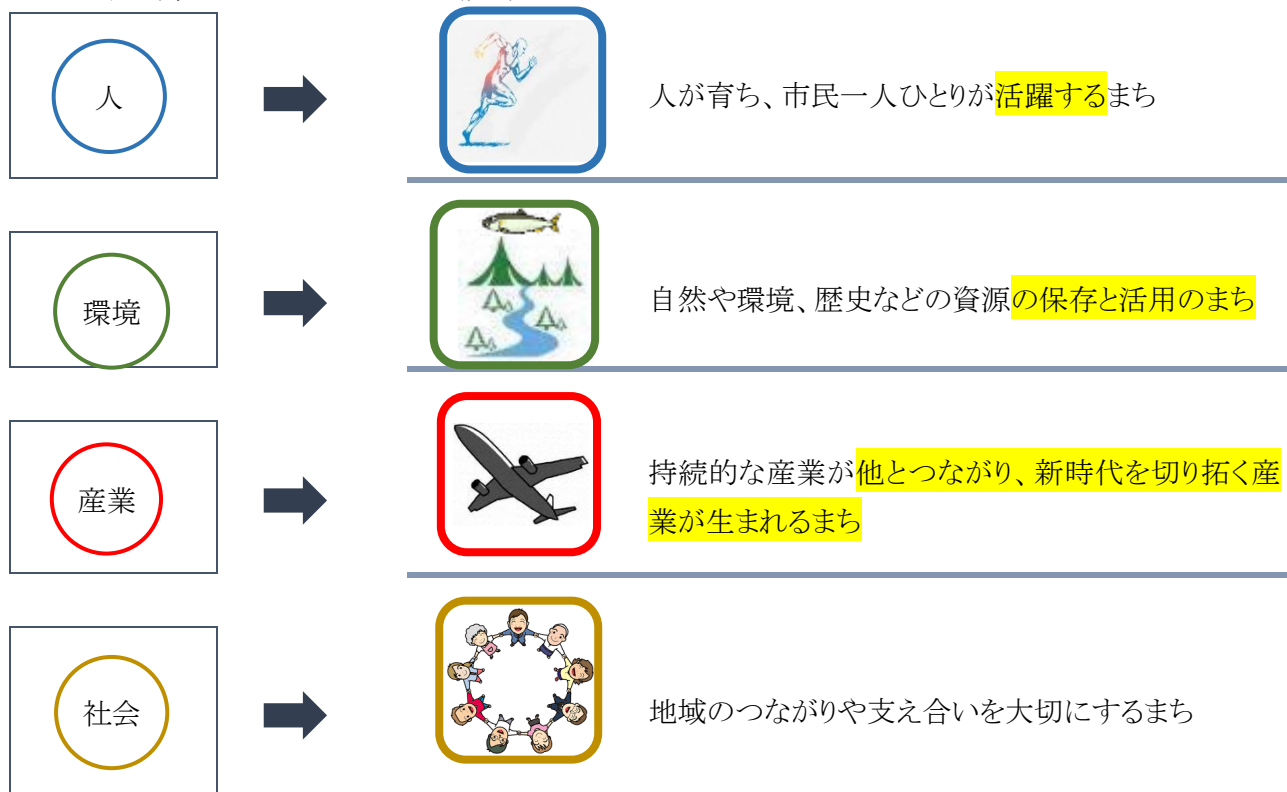
今後、社会の変化は一層激しくなり、それに伴い地域の課題もより複雑化することが予想されます。このような状況の中、持続可能なまちづくりを実現するためには、条例に定める多様な主体がそれぞれの役割を果たしていくことが不可欠であり、これを担う人材育成が重要となります。

SDGsの17番目のゴールである「パートナーシップで目標を達成しよう」は、条例の趣旨やこれまでの本市の取り組みの方向性と合致するものです。「基本理念」で示した本市の資源の一つ「人」が、パートナーとして互いに協力し合い、協働のまちづくりを進めることで、他の3つの資源「環境」、「産業」、「社会」の好循環が生まれ、本市のまちの将来像「〇〇」が達成できるものと考えます。


以上のことを踏まえ、「人」、「環境」、「産業」、「社会」の4つの資源それぞれに対応した本市独自の目標(益田市版SDGs(MSDGs))を次のとおり設定します。


なお、MSDGsは、SDGsの目標達成にもつながるような役割も果たすものとして、MSDGsそれぞれに対して、関連するSDGsを示しています。





■益田市が掲げる4つのMSDGsの概要




(5) MSDGs (益田市版 SDGs) のゴールと各主体の役割


MSDGs ①	益田市におけるゴール
<p>人が育ち、市民一人ひとりが活躍するまち</p>  <p><人></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・益田で生まれた子どもたちが、健やかな体と豊かな心を持ち、一人ひとりが健康に育つまちにします。 ・健康に対する市民の関心が高まり、生涯を通じて心身ともに健康で自立した暮らしが営まれているまちにします。
<p>まちの将来像を達成するためには、これからの益田を支える人材の育成が必要なため、市民一人ひとりの主体性を高め、誰もが活躍できる環境づくりが重要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの人生を能動的に生きる力を育むライフキャリア教育などへの参加を通じて、地域を支えるたくましい未来の担い手が育つまちにします。 ・農林水産業や観光振興などの地域の課題を解決する地域の担い手が育つまちにします。





MSDGs ②	益田市におけるゴール
<p>自然や環境、歴史などの資源の保存と活用のまち</p>  <p><環境></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高津川をはじめとした、きれいで美しい水辺環境がいつまでも残るまちにします。 ・地域産業の生産活動や快適な生活に必要な不可欠なエネルギーが安定して供給されるまちにします。 ・石見神楽や中世益田氏など豊かな歴史文化資源が適切に保存・活用され、地域の魅力や活力が向上するまちにします。
<p>まちの将来像を達成するためには、市民一人ひとりが益田市の自然環境に興味を持ち、実際に行動に移すきっかけづくりが重要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園などの都市基盤が充実した快適で便利なまちにします。 ・災害に対して強くしなやかなまちにします。 ・豊かな水産資源や森林資源、肥沃な土地を活かした地域固有の食文化や産業が未来の子どもたちに受け継がれているまちにします。





KGI(将来像を達成するための指標)	市民と行政の協働の取組み例		SDGsの目標
・「子育て家庭等へのサポート体制の充実」の実感度〇〇%(現状10.8%)	市民	・子どもとの時間を大切に過ごします。	 1 貧困をなくそう
	行政	・子育てしやすい生活環境等を整備します。	
・「市民参画による健康づくり活動の充実」の実感度〇〇%(現状17.9%)	市民	・食生活に配慮するとともに、健康診断、検診を受け、自分に合った健康づくりに取り組みます。	 3 すべての人に健康と福祉を
	行政	・地域、機関・団体、行政が一体となった住民主体の健康づくり活動を推進します。	
・「ふるさとを愛し、誇りを持つ心を育てる教育の推進」の実感度〇〇%(現状11.6%)	市民	・仕事外で子どもと関わる機会をつくります。	 4 質の高い教育をみんなに
	行政	・地域で活躍する魅力的な「グローバル人材」を益田から創出していく教育を推進します。	
・「意欲ある担い手の育成・支援」の実感度〇〇%(現状1.9%)	市民	・若い世代が興味を持てるような魅力あふれる職場作り取り組みます。	 8 働きがいも経済成長も
	行政	・地域で暮らし活躍する人との出会いの場や地域のために行動できる機会を提供します。	

KGI(将来像を達成するための指標)	市民と行政の協働の取組み例		SDGsの目標
・「高津川・益田川等の河川の水質保全」の実感度〇〇%(現状17.9%)	市民	・市が取り組んでいる「COOL CHOICE」に賛同し、省エネにつながるような行動を心がけます。	 6 安全な水とトイレを世界中に
	行政	・自然の恵みを生かした再生可能エネルギーの積極的な活用を図ります。	
・「地球環境保全に関する取組みの推進」の実感度〇〇%(現状3.8%)	市民	・自転車や徒歩、公共交通機関の利用を心がけます。	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
	行政	・気候変動対策の緩和策だけでなく、気候変動に備えた適応策の検討を進めていきます。	
・「豊かな歴史・文化資源を保存・継承・活用したまちづくりの推進」の実感度〇〇%(現状13.2%)	市民	・益田の自然や歴史の価値を再認識し、その大切さを次世代の子どもたちに伝えます。	 11 住み続けられるまちづくりを
	行政	・地域の歴史・文化資源を学ぶ機会を提供します。	
・「自然環境保全に対する市民意識の啓発」の実感度〇〇%(現状7.8%)	市民	・日常生活の中から出る生活排水などが流れないように適切な処理を行います。	 13 気候変動に具体的な対策を
	行政	・公園施設や地域の憩いの場に対し、適切な管理に努め、維持します。	
・「川と海の恵みを活かした水産業の振興」の実感度〇〇%(現状6.4%)	市民	・里山の環境を保つための保全活動に積極的に参加します。	 14 海の豊かさを守ろう
	行政	・まちの中で発生した汚染が海や川、土地を汚さないよう、汚染対策の実施と啓発を推進します。	
・「森林の公益機能を維持するための適正な管理」の実感度〇〇%(現状3.3%)			 15 陸の豊かさを守ろう

MSDGs ③	益田市におけるゴール
<p>持続的な産業が他とつながり、新時代を切り拓く産業が生まれるまち</p>  <p><産業></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・益田の豊かな土地や水資源などの自然資源を活用した産業が安定的に営まれ、安定した生産と供給が行われるまちにします。 ・独自性にあふれた産業が生まれ、益田の資源を活かした特色のある優れた産業基盤が形成されるまちにします。
<p>まちの将来像を達成するためには、安定的な雇用の確保と技術開発が重要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の有効活用による環境への負荷が少ない循環型社会が形成され、自然と共生した環境にやさしいまちにします。 ・同業種・異業種の企業間での連携や地域を超えた広域での連携が進み、革新的な技術が生まれるまちにします。

MSDGs ④	益田市におけるゴール
<p>地域のつながりや支え合いを大切にするまち</p>  <p><社会></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが平等にいきいきと暮らし、男女がともに参画してつくる男女平等社会が実現しているまちにします。 ・差別や偏見がなく、安心して暮らしやすい地域社会が築かれているまちにします。
<p>まちの将来像を達成するためには、お互いに尊重し合い、市民一人ひとりが自らの地域を良くしようと考え、支え合う仕組みづくりが重要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治組織を中心として、地域を支える様々な団体と、世代や性別、立場を超えた連携の体制が構築されているまちにします。 ・暴力や犯罪などがない安心安全な地域社会となっているまちにします。

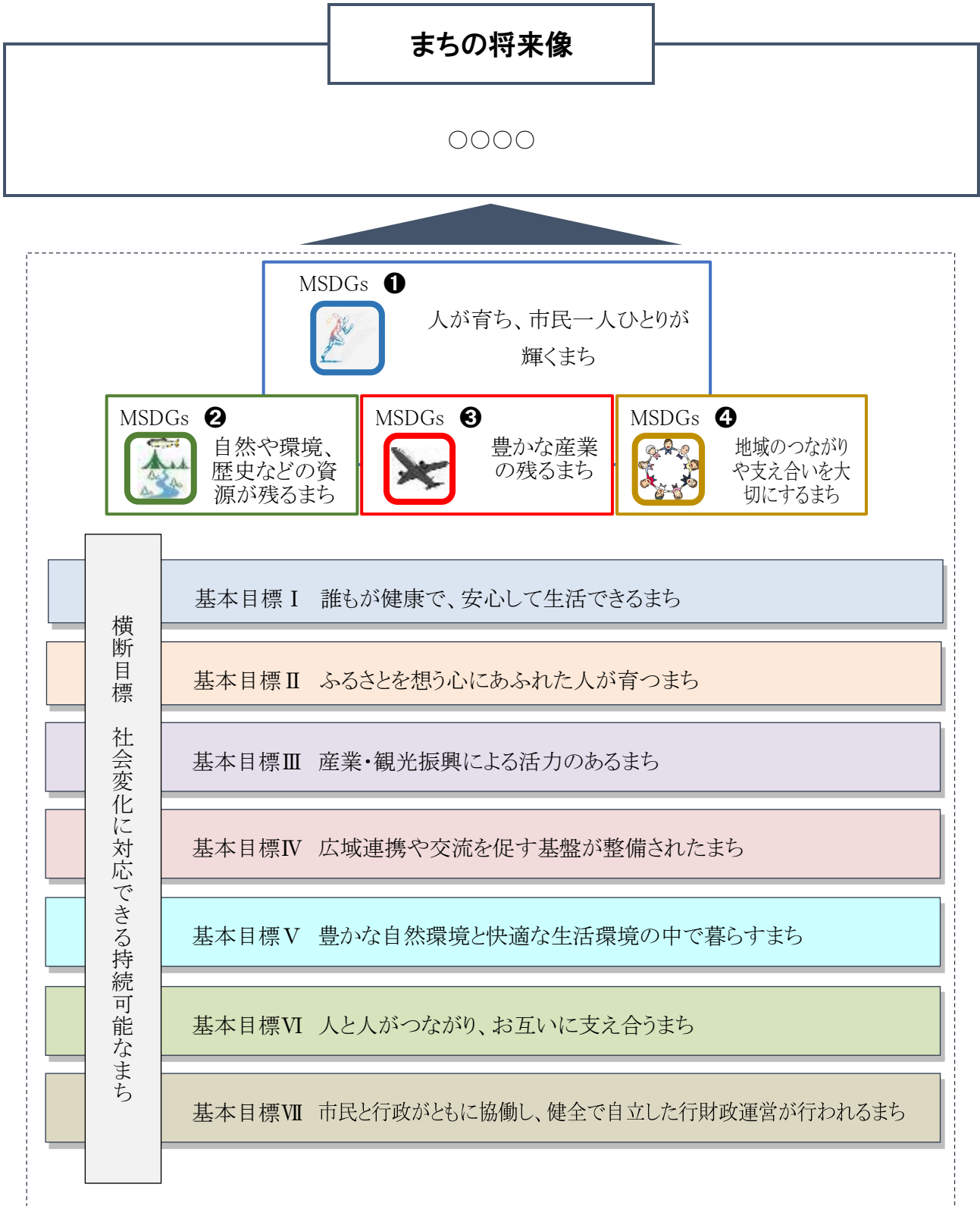
KGI(将来像を達成するための指標)	市民と行政の協働の取組み例		SDGsの目標
・「環境保全型農業とGAPの推進」の実感度〇〇%(現状4.5%)	市民	・地元の産品を買うことで、地元産産を応援します。	2 飢餓をゼロに 
	行政	・農林水産業の基盤強化を進めるとともに、市民に対し理解・協力を図ります。	
・「地域産品の高付加価値化の推進」の実感度〇〇%(現状5.7%)	市民	・様々な考え方や知識を取り入れ、生産性の向上を図ります。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 
	行政	・新商品開発、販路の開拓などの取組を支援、アドバイスします。	
・「再生可能エネルギーの利用促進」の実感度〇〇%(現状3.1%)	市民	・ごみの分別やリサイクルを積極的に行い、ごみの減量に取り組みます。	12 つくる責任 つかう責任 
	行政	・市民や企業に対して自主的かつ主体的なごみの減量・資源化への取り組みを促進します。	
・「広域連携の推進」の実感度〇〇%(現状7.5%)	市民	・行政、商工団体、企業と情報交換し、互いに協力しながら地域の発展に関わっていきます。	17 パートナシップで目標を達成しよう 
	行政	・多様な関係者の連携が進む機会を創出します。	

KGI(将来像を達成するための指標)	市民と行政の協働の取組み例		SDGsの目標
・「あらゆる分野での男女共同参画の促進」の実感度〇〇%(現状6.4%)	市民	・家庭や職場において、常にお互いが協力し合い、分担して取り組みます。	5 ジェンダー平等を実現しよう 
	行政	・あらゆる分野や場面における女性の活躍を推進します。	
・「人権・同和教育と人権啓発の推進」の実感度〇〇%(現状9.0%)	市民	・相手の考えや人としての尊厳を大切にいきます。	10 人や国の不平等をなくそう 
	行政	・平等で公正なまちづくりを推進します。	
・「小さな拠点づくりの推進」の実感度〇〇%(現状4.2%)	市民	・自治会、公民館、自治組織の活動に積極的に関わります。	11 住み続けられるまちづくりを 
	行政	・多様な主体が取り組む自主的なまちづくりを尊重し、協働によるまちづくりを推進します。	
・「防犯体制の充実・強化」の実感度〇〇%(現状8.7%)	市民	・見守りも兼ねたあいさつを積極的に行います。	16 平和と公正をすべての人に 
	行政	・地域の子どもの安全安心を確保します。	

3 将来像を実現するための基本目標

3-1 分野別の基本目標

分野別の基本目標としては、以下の8つの目標を掲げます。各基本目標については、MSDGsの考え方のもと、益田市におけるゴールに向かって市民・行政それぞれが役割を果たすことで、まちの将来像である「〇〇」の実現を目指します。



3-2 分野別の基本施策

横断目標 社会変化に対応できる持続可能なまち

本市では、地域で活躍する人材の創出に取り組む必要があるほか、行政、地域住民、事業者、NPO 法人などの多様な主体が連携することによる地域課題への対応、先進技術などを取り入れた持続可能なまちづくりを目指していく必要があります。

こうした考え方にに基づき、「横断目標 社会変化に対応できる持続可能なまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 次代を担う人材の育成・確保を推進します
- 2 協働のまちづくりを推進します
- 3 新たな時代の流れを力にした持続可能なまちづくりを推進します

(1) 基本目標Ⅰ 誰もが健康で、安心して生活できるまち

本市では、安心して産み育てることの出来る環境、子どもを育てる環境の構築に加え、地域が一体となって、これらの世代の人々を支えていくなど、地域全体で取り組む必要があります。

また、子どもからお年寄りまで、それぞれの年齢に応じた医療・福祉サービスの充実により、安心して暮らせる地域づくりが必要です。

さらに、差別や偏見をなくし、誰もが平等に社会参画できるような環境の構築が求められています。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅰ 誰もが健康で、安心して生活できるまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 結婚・出産・子育て支援の充実を図ります
- 2 保健・予防や健康づくりを推進します
- 3 救急・医療体制の充実を図ります
- 4 地域福祉の充実と地域共生社会づくりを推進します
- 5 人権を尊重し、男女共同参画を推進します

(2) 基本目標Ⅱ ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち

本市では、安心して教育を受けることができる環境の整備や、将来の益田市を担う世代に対して、地元への愛着心を醸成する教育を推進する必要があります。そのため、益田市の食文化に触れる機会の創出や、地域の歴史・文化を学ぶ機会を設ける必要があります。

また、芸術や文化交流、スポーツ振興などの市民活動への支援を通じて、市民の生きがいと健康づくりを支援する必要があります。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅱ ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 次代を担う人を育てる教育環境の充実を図ります
- 2 地域に根づく食と農への理解を促進します
- 3 地域・世代を越えた学習機会を創出します
- 4 歴史・文化の保存・継承・活用や芸術活動を推進します
- 5 生涯スポーツ社会の実現に取り組みます

(3) 基本目標Ⅲ 産業・観光振興による活力のあるまち

本市では、持続的な地域経済の発展に向けて、担い手の確保や農産物の加工や販売等を通じた高付加価値化、企業誘致などを推進する必要があります。

また、新たな産業の創出に向け、新技術を活用するなど、産業全体での技術力を高めていく必要があります。

さらに、本市の魅力を最大限に活かした観光地域づくりと効果的な情報発信により、交流人口の拡大を図る必要があります。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅲ 産業・観光振興による活力のあるまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 特徴ある農林水産業の基盤を強化します
- 2 こだわりの地域産品を提供します
- 3 市内の雇用や産業基盤を強化します
- 4 新事業の創出や起業を支援します
- 5 戦略的な広域観光を推進します

(4) 基本目標Ⅳ 広域連携や交流を促す基盤が整備されたまち

本市では、地場産業の発展や観光促進、地域住民の安全・快適な移動に配慮した道路整備及び交通体系の整備が求められています。

また、地域ごとの特性に配慮した、良好な市街地形成を推進する必要があります。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅳ 広域連携や交流を促す基盤が整備されたまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 市内外のアクセスを確保する道路網を整備します
- 2 持続可能な公共交通体系を整備します
- 3 魅力ある市街地の形成を推進します
- 4 光ファイバー網の活用などによる地域情報の発信を強化します

(5) 基本目標Ⅴ 豊かな自然環境と快適な生活環境の中で暮らすまち

本市では、安心して快適に生活ができる住環境の整備を行う必要があります。

また、快適な生活環境を保全するため環境の整備や取組の推進が必要です。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅴ 豊かな自然環境と快適な生活環境の中で暮らすまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 暮らしやすい住環境を創出します
- 2 人と地球にやさしい地域環境を形成します
- 3 豊かな自然環境を保全します

(6) 基本目標Ⅵ 人と人がつながり、お互いに支え合うまち

本市では、市民が安心して生活できるよう、犯罪や交通事故等を未然に防ぐための啓発活動や見守り活動の促進を図る必要があります。

また、災害に備えた災害対策や自主防災組織による減災対策が必要です。

さらに、持続的な発展のためには、地域に関わる多様な主体同士の連携の強化や外部人材の積極的な受け入れを行っていく必要があります。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅵ 人と人がつながり、お互いに支え合うまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 地域の安全対策を強化します
- 2 自助・共助・公助の消防・防災体制を強化します
- 3 多様な主体が参画する地域自治組織の形成を促進します
- 4 市内への移住・定住を促進します

(7) 基本目標Ⅶ 市民と行政がともに協働し、健全で自立した行財政運営が行われるまち

本市では、市民と行政が一体となって地域を支える必要があります。

また、健全な行財政運営に関しての適切な情報公開を進めるとともに、効率的な情報共有を図る必要があります。

さらに、公共施設の適切な予防保全を図りながら、管理の適正化を図る必要があります。

こうした考え方にに基づき、「基本目標Ⅶ 市民と行政がともに協働し、健全で自立した行財政運営が行われるまち」の基本目標に対して、次の基本施策を設定します。

基本施策

- 1 分かりやすく開かれた行政を推進します
- 2 効率的かつ効果的で健全な行財政運営を行います

3-3 施策体系

まちの
将来像



横断目標

社会変化に対応できる持続可能なまち

基本目標Ⅰ

誰もが健康で、安心して生活できるまち

基本施策Ⅰ

結婚・出産・子育て支援の充実を図ります

<具体施策>

- ①地域ぐるみの子育て支援の推進と学びや活動の場の創出
- ②多様な子育て支援ニーズに対応した保育サービスの充実
- ③安心して結婚し、子供を産み育てられる環境づくり
- ④特に支援を必要とする子どもや家庭への支援体制の充実
- ⑤子育てと仕事が両立できる環境づくり

基本施策Ⅱ

保健・予防や健康づくりを推進します

<具体施策>

- ①保健予防体制の充実
- ②各世代に応じた予防活動の充実
- ③市民参画による健康づくり活動の充実
- ④地域資源を活用した心と身体の健康づくりの推進
- ⑤感染症予防対策の充実

基本施策Ⅲ

救急・医療体制の充実を図ります

<具体施策>

- ①益田赤十字病院・益田地域医療センター医師会病院を核とした医療機関の連携による地域医療の確保
- ②救急医療体制の充実
- ③無医地区等の地域医療体制の充実
- ④国民健康保険財政の健全運営

基本施策Ⅳ

地域福祉の充実と地域共生社会づくりを推進します

<具体施策>

- ①地域共生社会の推進
- ②地域包括ケアシステムの推進
- ③市民ニーズに対応した各種介護・障がい福祉サービス体制の充実
- ④高齢者や障がい者が安心して生活できる環境づくり
- ⑤障がい者の就労の場づくりと社会参画支援
- ⑥ユニバーサルデザイン・バリアフリーの推進
- ⑦自立を支えるセーフティネットの構築を推進

基本施策Ⅴ

人権を尊重し、男女共同参画を推進します

<具体施策>

- ①人権・同和教育と人権啓発の推進
- ②あらゆる分野での男女共同参画の促進

基本目標Ⅱ

ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち

基本施策Ⅰ

次代を担う人を育てる教育環境の充実を図ります

<具体施策>

- ①地域ぐるみでの教育の推進
- ②確かな学力の向上を目指した教育の推進
- ③子どもの可能性を伸ばす、個性を大切に教育の推進
- ④ふるさとを愛し、誇りを持つ心を育てる教育の推進
- ⑤豊かな心と健やかな身体を育む教育の推進
- ⑥教育環境の整備・活用
- ⑦ライフキャリア教育の推進による生きる力の育成

基本施策Ⅱ

地域に根づく食と農への理解を促進します

<具体施策>

- ①食への感謝の気持ちや意識・知識の向上
- ②地域の食文化の継承
- ③安心安全な食の提供
- ④食と農に関する理解の推進

基本施策Ⅲ

地域・世代を越えた学習機会を創出します

<具体施策>

- ①地域間、団体間の連携による多様な学習機会の創出と指導者のネットワーク化
- ②知識・技術を持った人材を活かした学習プログラムづくり
- ③社会教育の推進と活動拠点づくり
- ④気軽に読書に親しめる環境の整備

基本施策Ⅳ

歴史・文化の保存・継承・活用や芸術活動を推進します

<具体施策>

- ①豊かな歴史・文化資源を保存・継承・活用したまちづくりの推進
- ②伝統文化を守り、継承する活動の支援
- ③島根県芸術文化センター「グラントワ」を核とした文化交流の振興

基本施策Ⅴ

生涯スポーツ社会の実現に取り組みます

<具体施策>

- ①スポーツ環境の充実
- ②スポーツイベント等を通じた地域間交流の推進
- ③市民の体力・競技力の向上
- ④スポーツの指導者・スポーツボランティアの育成

基本目標Ⅲ

産業・観光振興による活力のあるまち

基本施策Ⅰ

特徴ある農林水産業の基盤を強化します

<具体施策>

- ①意欲のある担い手の育成・支援
- ②地域営農体制づくりと生産基盤の整備
- ③環境保全型農業とGAPの推進
- ④豊富な森林資源を活かした林業の振興
- ⑤川と海の恵みを活かした水産業の振興

基本施策Ⅱ

こだわりの地域産品を提供します

<具体施策>

- ①地産地消の推進
- ②地域産品の高付加価値化の推進

基本施策Ⅲ

市内の雇用や産業基盤を強化します

<具体施策>

- ①既存企業の育成支援
- ②石見臨空ファクトリーパーク等への新規企業の立地促進
- ③次代を担う若者の地元就職の促進と定着支援

基本施策Ⅳ

新事業の創出や起業を支援します

<具体施策>

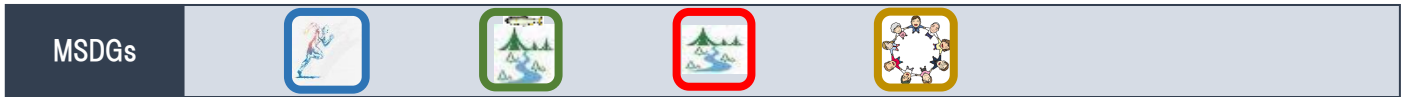
- ①再生可能エネルギーの利用促進
- ②新規創業と事業継承の支援

基本施策Ⅴ

戦略的な広域観光を推進します

<具体施策>

- ①観光地域づくり(DMO等)の推進
- ②認知度向上を目指した効果的な情報の発信
- ③インバウンド観光の充実
- ④国内交流・国際交流の推進
- ⑤自転車を活用した観光・交流の推進
- ⑥広域連携の推進



基本施策Ⅰ	次代を担う人材育成・確保を推進します	具体施策	①将来の益田市を担う人材育成の推進②関係人口の拡大推進による人材確保
基本施策Ⅱ	協働のまちづくりを推進します	具体施策	①協働による持続可能なまちづくりの推進
基本施策Ⅲ	新たな時代の流れを力にした持続可能なまちづくりを推進します	具体施策	①先端技術をまちづくりに活かすスマートシティへの取組みの推進②SDGs（持続可能な開発目標）の理念に基づく施策の推進

基本目標Ⅳ	基本目標Ⅴ	基本目標Ⅵ	基本目標Ⅶ
広域連携や交流を促す基盤が整備されたまち	豊かな自然環境と快適な生活環境の中で暮らすまち	人と人がつながり、お互いに支え合うまち	市民と行政がともに協働し、健全で自立した行財政運営が行われるまち

基本施策Ⅰ
市内外のアクセスを確保する道路網を整備します

- <具体施策>
- ①安全、きれいな道路環境づくり
 - ②グリーンライン90の整備促進
 - ③高速道路網の整備促進
 - ④国道・県道等の幹線道路の改良整備促進
 - ⑤市道（街路）・農道・林道の整備

基本施策Ⅱ
持続可能な公共交通体系を整備します

- <具体施策>
- ①公共交通機関と連携した公共交通の利用促進
 - ②持続可能な公共交通体系の維持と確保を目指した地域との協働・連携
 - ③萩・石見空港路線の維持・拡大と利用促進

基本施策Ⅲ
魅力ある市街地の形成を推進します

- <具体施策>
- ①市街地の整備、開発及び保全による都市機能の向上
 - ②コンパクトで利便性の高い市街地の整備
 - ③地籍調査の推進
 - ④美しい景観の保全

基本施策Ⅳ
光ファイバー網の活用などによる地域情報の発信を強化します

- <具体施策>
- ①情報通信格差の是正
 - ②高速情報通信基盤を活用した利便性の高いサービスの推進

基本施策Ⅰ
暮らしやすい住環境を創出します

- <具体施策>
- ①安全・安心かつ快適な暮らしを実現する住宅及び居住空間の確保
 - ②公園や親水空間等の日常生活の憩いの場の整備
 - ③地域の生活拠点における商業拠点の維持・向上

基本施策Ⅱ
人と地球にやさしい地域環境を形成します

- <具体施策>
- ①地球環境保全に関する取組みの推進
 - ②生活環境保全に関する取組みの推進
 - ③一般廃棄物の適正な処理とごみ分別収集によるリサイクル及び減量化の推進
 - ④下水道等の整備
 - ⑤上水道施設の耐震化・更新の推進

基本施策Ⅲ
豊かな自然環境を保全します

- <具体施策>
- ①自然環境保全に対する市民意識の啓発
 - ②高津川・益田川等の河川の水質保全
 - ③森林の公益機能を維持するための適正な管理

基本施策Ⅰ
地域の安全対策を強化します

- <具体施策>
- ①生活・交通安全対策の充実
 - ②防犯体制の充実・強化

基本施策Ⅱ
自助・共助・公助の消防・防災体制を強化します

- <具体施策>
- ①防災体制の充実
 - ②地震や土砂崩れ等の自然災害対策の充実
 - ③消防・救急・救助体制の充実・強化

基本施策Ⅲ
多様な主体が参画する地域自治組織の形成を促進します

- <具体施策>
- ①小さな拠点づくりの推進
 - ②地域人材の育成と協働

基本施策Ⅳ
市内への移住・定住を促進します

- <具体施策>
- ①U・Iターンの支援
 - ②空き家の利用促進

基本施策Ⅰ
分かりやすく開かれた行政を推進します

- <具体施策>
- ①情報公開制度の充実
 - ②広報・広聴機能の充実
 - ③財政状況等の公表
 - ④透明性のある議会機能の充実

基本施策Ⅱ
効率的かつ効果的で健全な行財政運営を行います

- <具体施策>
- ①市民ニーズに対応した行政サービスの向上
 - ②効率的かつ効果的な行政サービスを提供できる職員人材育成の強化及び情報システムの充実
 - ③財政計画に基づく健全な事業運営の推進
 - ④公共施設の最適化と利活用の推進